

公開講演会

OECDの教育活動とその影響

- 日時 2016/1/14(木) 18:00～20:00 (開場 17:45)
- 会場 東京大学 本郷キャンパス
教育学部棟1階 第1会議室
- 言語 英語(必要に応じて通訳補助あり)
- 申込 不要 ※学外の方も参加可能です。

「OECDの教育活動の拡大と認識論的・構造的 ガバナンス」

Bob Lingard教授(クイーンズランド大学)

国際学習到達度調査(PISA)や国際成人力調査(PIAAC)が
OECDの教育ガバナンス役割の強化にいかに貢献したかにつ
いて論じる

「PISAの影響を理解するために: 英語圏のPISA論争 を手がかりに」

高山敬太准教授(ニューイングランド大学)

アメリカの研究者たちのPISAにまつわる近年の論争を
批判的に検証することで、PISAの影響を理解する視点を
提示する。

【司会】北村友人 東京大学大学院教育学研究科 准教授
学校教育高度化センター 副センター長